

『ダンス、楽しい!!』 4 歳児 10月 伏見こども園

子どもの姿

運動遊び参観後、“ステージごっこ”の場に数人の女児が集まってきました。集まってきたのは、友達がステージで踊っているのを見ていることが多かった子達です。曲が始まると「『かわいいだけじゃダメですか』始まった!」「行こう!」と、嬉しそうにステージに飛び乗って、楽しそうに体を思いきり動かして踊っています。保育者も嬉しくなって思わず一緒に踊ってしまいました。聞き慣れた曲に誘われて友達も集まってきて、友達が踊っていた曲の時も、ステージに上がって友達と一緒に嬉しそうに繰り返し踊っていました。

子どもの育ちや学び

始まったよ!
(安心) (楽しい) (嬉しい)

聞き慣れた曲や遊びの場、好きな友達が近くにいることで安心し、いつも以上に楽しい気持ちになっている。

みんなと一緒に踊って、楽しい!
(満足感) (大好き)



表情や動きから、不安や緊張は感じない。心から、ステージごっこを楽しんで満足感を味わっている。

保育者の思い

- 運動遊び参観後にもステージごっこを楽しんで遊べるように、ステージや CD デッキを準備しておきました。
- 曲が始まると、これまでお客さん役になって応援していることが多かった子ども達が集まって来ていることが嬉しく、驚きました。近くにいた友達も、聞き慣れた曲に合わせて体を揺らして楽しんでいる温かな雰囲気でした。
- 参観前の遊びや事前の準備をしたりしている中で、お家の方が見に来てくれる嬉しさもある反面、不安や緊張が大きくなっていたのだと思いました。参観後、家庭でたくさん褒めてもらったり、気持ちを受け止めてもらったりしたことが子ども達の自信となって、自分からステージに上って踊りたいと思ったのだらうと思いました。
- 目に見えない先のことや経験したことのないことは、不安や緊張でいっぱいになってしまっていて動けなくなってしまうこともあります。動けないのは、心の中でたくさん準備していたのだな。安心するとこんなにも自信をもって楽しめるのだなと感じました。

家庭だったら・・・

子どもは、大人のように気持ちを言葉に表すことが難しいことが多いです。言葉に表せない、何ともいえない感情を行動で表すことがあって、それが時に、乱暴になってしまったり、大人がしてほしくない行動になったりすることもあります。そのような時、大人は「何でそんなことするの?」と思ったり、その行動を叱ったりすることがあります。けれど、その行動の裏側を思うと、そのようにしてしまう子どもの本当の思いが隠れているのですね。

大人は、相手の立場に立って考えることもできるし、想像することもできます。「どんな気持ちだったんだろう」「自分が子どもの時はどうだっただろう」と子どもの気持ちに寄り添い、受け止められるといいですね。